

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-216350
(43)Date of publication of application : 10.08.2001

(51) Int.Cl. G06F 17/60

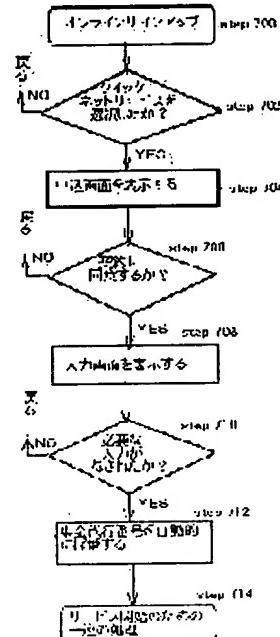
(21)Application number : 2000-021372 (71)Applicant : UC CARD CO LTD
(22)Date of filing : 31.01.2000 (72)Inventor : WADA MORIHIRO

(54) METHOD FOR COLLECTING CHARGE FOR CONTINUOUS SERVICE AND METHOD FOR PROVIDING CHARGE PAYING MEANS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a charge collecting method and a charge paying means providing method which enables service to begin to be provided early while guaranteeing convenience for three parties, i.e., a service provider, a service receiver, and a card company.

SOLUTION: This is the charge collecting method for collecting the charge for continuous service by a computer system, and has a credit card application stage where a picture urging a customer to apply to a credit card company and apply for continuous service is displayed to urge entry into the picture when the customer who applies for the reception of the continuous service desires to pay service charge with a credit card by applying for the reception of the service and applying for the credit card newly, a charge storage code number acquisition stage where a specific charge storage code number is obtained when an application is made at the credit card application stage, and a continuous service provision start stage where the service that the customer has applied for begins to be provided after it is confirmed that the charge storage code number is obtained at the charge storage code number acquisition stage.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

BEST AVAILABLE COPY

[decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-216350

(P2001-216350A)

(43)公開日 平成13年8月10日 (2001.8.10)

(51)Int.Cl.
G 0 6 F 17/60

識別記号

F I
G 0 6 F 15/21

テ-マト[®] (参考)
3 4 0 Z 5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数24 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願2000-21372(P2000-21372)

(22)出願日 平成12年1月31日 (2000.1.31)

(71)出願人 399062131

ユーシーカード株式会社

東京都港区台場2丁目3番2号

(72)発明者 和田 守弘

東京都港区台場2-3-2台場フロンティ

アビルユーシーカード株式会社内

(74)代理人 100108051

弁理士 小林 生央

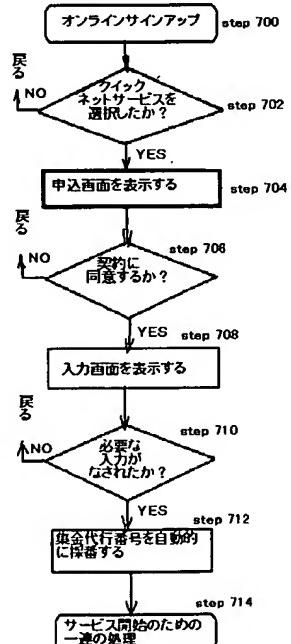
Fターム(参考) 5B049 BB00 CC36 DD01 EE00 EE21
FF01 GG02

(54)【発明の名称】 継続的役務の料金徴収方法及び料金決済手段提供方法

(57)【要約】

【課題】 役務提供者、役務受給者、カード会社の三者の利益を満たしつつ、役務提供の早期開始を可能とする料金徴収方法、料金決済手段提供方法を提案する。

【解決手段】 コンピュータシステムによる継続的役務の料金を徴収する料金徴収方法であって、継続的役務の受給を申し込む顧客が当該役務の受給の申し込みとともに新たなクレジットカードの申し込みをして当該クレジットカードにより当該役務料金の決済を希望する場合に、その顧客に対してクレジットカード会社への申し込みと継続的役務の申し込みとを促す画面を表示し該画面上への記入を促すクレジットカード申し込み段階と、該クレジットカード申し込み段階で申し込みがあった場合に、所定の料金収納コード番号を取得する料金収納コード番号取得段階と、該料金収納コード番号取得段階にて料金収納コード番号を取得したことを確認した上で、上記顧客の申し込み役務提供を開始する継続的役務提供開始段階とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータシステムによる継続的役務の料金を徴収する料金徴収方法であって、継続的役務の受給を申し込む顧客が当該役務の受給の申し込みとともに新たな料金決済手段の申し込みをして当該料金決済手段により、当該役務料金の決済を希望する場合に、その顧客に対して、料金決済手段提供業者への申し込み及び役務提供業者への申し込みを促す画面を表示し、該画面上への記入を促す料金決済手段及び継続的役務需給申し込み段階と、該料金決済手段及び継続的役務需給申し込み段階で申し込みがあった場合に、その応答として所定の料金収納コード番号を自動的に取得し、これを料金決済手段提供業者ならびに役務提供業者への申し込みデータとともに、データベースに登録するデータベース登録段階と、該料金収納コード番号と継続的役務の受給申し込みデータの登録をデータベースに登録したことを確認した上で、上記顧客の申し込み役務提供を開始する継続的役務提供開始段階とを備えることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項2】 コンピュータシステムによる継続的役務の料金の決済手段を提供する料金決済手段提供方法であって、

継続的役務の受給を申し込む顧客が当該役務の受給の申し込みとともに新たな料金決済手段の申し込みをして当該料金決済手段により、当該役務料金の決済を希望する場合に、

該料金決済手段の申し込みに応答して、所定の料金収納コード番号を自動的に付与する権限を、継続的役務の提供業者に対してあらかじめ賦与しておく料金収納コード付与権限賦与段階と、当該役務提供業者から料金収納コード番号を付与した旨の通知及び必要な顧客情報を受け取る顧客情報受領段階と、前記役務提供業者が料金収納コード番号を付与した後に開始した上記役務提供業者の継続的役務提供の料金を集金代行する集金代行段階と、前記料金決済手段の申し込みの審査の結果、料金決済契約が成立した場合に、集金代行を該料金決済手段による決済に切り替える料金決済手段切替段階とを備えることを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【請求項3】 請求項1記載の継続的役務の料金徴収方法であって、前記継続的役務提供業者が取得すべき顧客情報と、前記料金決済手段提供業者が取得すべき顧客情報を切り分けて管理することにより秘密情報管理することを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項4】 請求項2記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、前記継続的役務提供業者が取得すべき顧客情報と、前記料金決済手段提供業者が取得すべき顧客情報を切り分けて管理することにより秘密情報管理することを特徴とする継続的役務の料金決済手段

提供方法。

【請求項5】 請求項1記載の継続的役務の料金徴収方法であって、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータにアクセスする段階と、顧客が料金決済手段提供業者側のコンピュータにアクセスする段階とを備え、それぞれの段階においてアクセス経路又はアクセス手段に関するデータを取得してそれらのデータを照合することにより顧客の同一性を確認することを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項6】 請求項2記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータにアクセスする段階と、顧客が料金決済手段提供業者側のコンピュータにアクセスする段階とを備え、それぞれの段階においてアクセス経路に関するデータを取得してそれらのデータを照合することにより顧客の同一性を確認することを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【請求項7】 請求項1記載の継続的役務の料金徴収方法であって、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータに接続を開始して申し込みを始めてから該継続的役務提供業者が役務提供を開始するに至るまで、顧客から継続的役務提供業者側のコンピュータへ接続しつづけたままで、なされることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項8】 請求項2記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータに接続を開始して申し込みを始めてから該継続的役務提供業者が役務提供を開始するに至るまで、顧客から継続的役務提供業者側のコンピュータへ接続しつづけたままで、なされることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項9】 請求項1記載の継続的役務の料金徴収方法であって、前記継続的役務がインターネットのプロバイダーサービスであることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項10】 請求項2記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、前記継続的役務がインターネットのプロバイダーサービスであることを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【請求項11】 請求項1記載の継続的役務の料金徴収方法であって、前記継続的役務がインターネット上のショッピングサービスであることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項12】 請求項2記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、前記継続的役務がインターネット上のショッピングサービスであることを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【請求項13】 コンピュータシステムによる継続的役務の料金を徴収する料金徴収方法であって、継続的役務の受給を申し込む顧客が当該役務の受給の申

し込みとともに新たな料金決済手段の申し込みをして当該料金決済手段により、当該役務料金の決済を希望する場合に、

その顧客に対して、料金決済手段提供業者への申し込みを促す画面を表示し、該画面上への記入を促す料金決済手段申し込み段階と、

該料金決済手段申し込み段階で申し込みがあった場合に、その旨を料金決済手段提供業者側のコンピュータに自動的に通知する料金決済手段申し込み通知段階と、

該料金決済手段申し込み通知段階で料金決済手段提供業者に通知したことに対する応答として料金決済手段提供業者が発行する所定の料金収納コード番号を受け取る料

金収納コード番号受領段階と、

該料金収納コード番号受領段階にて料金収納コード番号を受領したことを確認した上で、上記顧客の申し込み役務提供を開始する継続的役務提供開始段階とを備えることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項14】コンピュータシステムによる継続的役務の料金の決済手段を提供する料金決済手段提供方法であって、

継続的役務の受給を申し込む顧客が当該役務の受給の申し込みとともに新たな料金決済手段の申し込みをして当該料金決済手段により、当該役務料金の決済を希望する場合に、

当該役務提供業者からその旨の通知及び必要な情報の送信が料金決済手段提供業者になされることに対する応答として料金決済手段提供業者が所定の料金収納コード番号を発行する料金収納コード番号発行段階と、

該料金収納コード番号発行段階にて料金収納コード番号を発行した後に開始された上記役務提供業者の継続的役務提供の料金を集金代行する集金代行段階と、

前記料金決済手段の申し込みの審査の結果、料金決済契約が成立した場合に、集金代行を該料金決済手段による決済に切り替える料金決済手段切替段階とを備えることを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【請求項15】請求項13記載の継続的役務の料金徴収方法であって、前記継続的役務提供業者が取得すべき顧客情報と、前記料金決済手段提供業者が取得すべき顧客情報を切り分けて管理することにより秘密情報管理をすることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項16】請求項14記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、前記継続的役務提供業者が取得すべき顧客情報と、前記料金決済手段提供業者が取得すべき顧客情報を切り分けて管理することにより秘密情報管理をすることを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【請求項17】請求項13記載の継続的役務の料金徴収方法であって、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータにアクセスする段階と、顧客が料金決済手段提供業者側のコンピュータにアクセスする段階とを備え、そ

れぞれの段階においてアクセス経路又はアクセス手段に関するデータを取得してそれらのデータを照合することにより顧客の同一性を確認することを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項18】請求項14記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータにアクセスする段階と、顧客が料金決済手段提供業者側のコンピュータにアクセスする段階とを備え、それぞれの段階においてアクセス経路に関するデータを取得してそれらのデータを照合することにより顧客の同一性を確認することを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【請求項19】請求項13記載の継続的役務の料金徴収方法であって、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータに接続を開始して申し込みを始めてから該継続的役務提供業者が役務提供を開始するに至るまで、顧客から継続的役務提供業者側のコンピュータへ接続しつづけたままで、なされることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

20 【請求項20】請求項14記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータに接続を開始して申し込みを始めてから該継続的役務提供業者が役務提供を開始するに至るまで、顧客から継続的役務提供業者側のコンピュータへ接続しつづけたままで、なされることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項21】請求項13記載の継続的役務の料金徴収方法であって、前記継続的役務がインターネットのプロバイダーサービスであることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項22】請求項14記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、前記継続的役務がインターネットのプロバイダーサービスであることを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【請求項23】請求項13記載の継続的役務の料金徴収方法であって、前記継続的役務がインターネット上のショッピングサービスであることを特徴とする継続的役務の料金徴収方法。

【請求項24】請求項14記載の継続的役務の料金決済手段提供方法であって、前記継続的役務がインターネット上のショッピングサービスであることを特徴とする継続的役務の料金決済手段提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータシステムを用いた継続的役務とりわけインターネットプロバイダーサービス、インターネットショッピングなどの料金徴収方法及び料金決済手段提供方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、インターネット上の有料サー

ビス、例えばインターネットプロバイダ接続サービスやインターネットショッピングサービスを受けようとする顧客がオンラインサインアップをする方法は知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】その際、その顧客がクレジットカードを既に所有していることが前提となっていた。クレジットカードを有していれば、その番号を記入することにより即座にインターネット上のサービスを利用可能となるが、そうでない場合は、即座に利用することはできないのが通常であった。

【0004】インターネット上のサービスをすぐに受けられると期待して接続した需要者（潜在的顧客）がクレジットカードを未だ有しない場合に、それを作るまでの数週間待たなければならないのでは、需要者にとってはなは不便である。場合によってはインターネット普及の阻害要因ともなり得る重要な問題である。

【0005】この問題を解決するために、インターネットサービスプロバイダを含む継続的役務提供業者とクレジットカード会社との間の効率的なネットワークをインターネット上に設けるのが望ましいと本発明の発明者は考えた。そして、需要者側、役務提供者側、クレジットカード会社側、三者の金銭的利益を守りつつ、三者の秘密にすべき情報をも有効に守り、取引の安全性にも配慮した料金徴収方法、料金決済手段提供方法を提供することについて考え付いた。

【0006】本発明の目的は、役務提供者、役務受給者、カード会社の三者の利益を満たしつつ、役務提供の早期開始を可能とする料金徴収方法、料金決済手段提供方法を提案することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決すべく、本発明に係る継続的役務の料金徴収方法は、コンピュータシステムによる継続的役務の料金を徴収する料金徴収方法であって、継続的役務の受給を申し込む顧客が当該役務の受給の申し込みとともに新たなクレジットカードの申し込みを同時にしない、当該クレジットカードにより、当該役務料金の決済を希望する場合に、その顧客に対して、クレジットカード会社への申し込みおよび継続的役務の受給の申し込みの両方を促す画面を表示し、該画面上への記入を促すクレジットカード及び継続的役務の受給の申し込み段階と、該クレジットカード及び継続的役務の受給の申し込み段階で申し込みがあった場合に、その応答として所定の料金収納コード番号を自動的に付与する段階と、役務提供者側のデータベースに料金収納コード番号を登録する段階と、該登録がなされたことを確認した上で、上記顧客の申し込みを開始する継続的役務提供開始段階とを備えるものである。

【0008】また、本発明に係る料金決済手段提供方法は、あらかじめ料金収納コードを新規顧客に付与する権

限を、料金決済手段提供業者が継続的役務提供業者に対して賦与しておく料金収納コード付与権限付与段階と、該料金収納コード番号発行段階にて料金収納コード番号を発行した後に開始された上記役務提供業者の継続的役務提供の料金を集金代行する集金代行段階と、前記クレジットカードの申し込みの審査の結果、クレジットカードが発行された場合に、集金代行をクレジットカード決済に切り替えるクレジットカード決済切替段階とを備える。

10 【0009】また、前記継続的役務提供業者が取得すべき顧客情報と、前記クレジットカード会社が取得すべき顧客情報とを切り分けて管理することにより秘密情報管理をするのが好ましい。

【0010】さらに、取り引きの安全性を確保するため、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータにアクセスする段階と、顧客がクレジットカード会社側のコンピュータにアクセスする段階とを備え、それぞれの段階においてアクセス経路に関するデータを取得してそれらのデータを照合することにより顧客の同一性を確認することができる。

20 【0011】さらに、好ましくは、顧客が継続的役務提供業者側のコンピュータに接続を開始して申し込みを始めてから該継続的役務提供業者が役務提供を開始するに至るまで、顧客から継続的役務提供業者側のコンピュータへ接続しつづけたままで、なされる。

【0012】前記継続的役務はインターネットのプロバイダサービス又はインターネット上のショッピングサービスであることができる。

30 【0013】あらかじめ料金収納コード番号を新規顧客に付与する権限を料金決済手段提供業者が継続的役務提供業者に賦与せずに、その都度、双方のコンピュータの交信により、付与手続をすることも可能である。

【0014】

【発明の実施の形態】まず、本発明の実施形態の説明をする前に、本願発明の位置付けを説明する。継続的役務とは、インターネット接続サービス、インターネットショッピングサービス、継続的情報提供サービスなどの継続してなされるサービスであって、月ごと（あるいは年毎）に料金を徴収すべき性質のものをいう。継続的役務

40 提供業者とは、それらの役務を提供する主体をいう。需要者とは、インターネットなどを通じて、役務の提供内容を知り、その役務提供を受けるために、役務提供を受けたい旨の申し込みをし、その役務提供を受けようとする一般大衆のことをいう。この需要者（役務提供の受給申込者）は、継続的役務提供業者にとっては、潜在的顧客である。役務提供の申し込みをするだけでは、その継続的役務提供は開始せず、役務提供業者の承諾が必要だからである。したがって、役務提供の受給申し込みをする段階では、厳密に言えば顧客とはまだいえないが、本願の明細書においては、特に混同する心配がない限り、

その場合でも顧客という言葉を使う場合があるものとする。また、料金決済手段とは、クレジット、ローン、リース、デビットカード、電子マネー、電子ウォレットなど称呼のいかんを問わず、現金を支払う代わりに買い物などの支払いを完結させてしまうことを可能にする手段をいう。料金決済手段提供業者とは、クレジットカード会社、信販会社、のような料金決済手段を提供することを業として行う者をいう。本発明の継続的役務の料金徴収方法は、インターネット上にサーバーを有する継続的役務提供業者が、インターネット上の顧客から料金を徴収するに際して、インターネット上に同様にサーバーを有する料金決済手段提供業者との関係で実施すべき方法である。また、本発明の料金決済手段提供方法は、前記継続的役務提供業者に対して料金決済手段を提供する料金決済手段提供業者が、インターネット上の顧客の料金を決済するに際して、実施すべき方法である。

【0015】1：全体構成

以下、本発明における一実施形態について図面を参照して説明する。図1は、本実施形態の構成を示すブロック図である。この図において、符号10は継続的役務提供業者側のサーバであり、経路制御装置、電話回線（又は専用線）を経由してインターネットNETに接続されている。符号20は、料金決済手段提供業者側のサーバであり、経路制御装置、電話回線（又は専用線）を経由してインターネットNETに接続されている。符号10 1、10 2、…は、一般需要者（継続的役務提供申込者、潜在的顧客、顧客）が利用する各種の端末コンピュータであり、サーバ10、20と同様にしてインターネットNETに接続される。ここで、端末101、102、…は、それぞれCRTやLCD等の表示部とともに、キーボード、マウス等の入力部を有する。

【0016】1-1：サーバの構成

次に、サーバ10、20の詳細構成について説明する。サーバ10、20は一般的なウェブサーバにより構成され得る。CPUなどからなる制御手段が各部の制御や、データの転送、種々の演算、データの一時的な格納等を行なう。さらに、入力制御手段、出力制御手段、記憶手段などを有する。

【0017】記憶手段には、メインプログラムが記憶されるほか、役務内容の情報や、顧客情報、料金情報、決済手段の情報、料金徴収方法などを関連付けて記憶するデータベースを含んでいる。

【0018】2：動作説明

次に、本実施形態の動作について説明する。ここで、端末101、102、…は、それぞれサーバ10又はサーバ20と接続されて通信を行ない、いずれも一般需要者の端末として機能する。説明の便宜上、サーバ10、20に端末101が接続されたとして、以下説明を行う。サーバ10に端末101が接続されると、サーバ10の制御手段は、この接続を入力制御手段を介して検知

し、メインプログラムにしたがって端末101を制御する（端末101の画面表示を変更することによって、端末を操作する操作者に入力を促す。）図2および図6は、かかるサーバ10及びサーバ20のメインプログラムの動作を示すフローチャートである。図2及び図6のうち、左半分の側に示された動作はサーバ10の動作を示し、右半分の側に示された動作はサーバ20の動作を示している。図7は、サーバ10の動作を示すフローチャートである。

- 10 【0019】2-1：オンラインサインアップ手続
図7は、本発明の実施形態における一般需要者の継続的役務の受給申し込みの際の継続的役務提供業者側のサーバの動作を示すフローチャートである。ここでは、継続的役務提供業者として、インターネットのサービスプロバイダ（一般需要者に対して主に電話回線を通じてインターネットにアクセスするアクセスポイントを提供してインターネット利用の機会を与えることを業とする者）を例に取る。一般にインターネットのサービスプロバイダーは、オンラインサインアップを可能とするためのCD-ROM（専用CD-ROM）を需要者に配布し、又はコンピュータメーカーと提携して新規に需要者が購入したコンピュータ画面上からアイコンをクリックすることによりインターネットサービスプロバイダへオンラインでサインアップできるような手段（PCにビルトインされたアイコン）を講じている。それらの場合には、あらかじめ定められたIDとパスワードにより、需要者はオンラインサインアップが可能である。また、既にインターネットに接続している需要者が二つ目のプロバイダーの利用をしたい場合には、ゲストとしてオンラインサインアップ画面にアクセスすることも可能である。図7におけるstep700から714までは、そのようにして一般需要者がインターネット上のサービスプロバイダのサーバにアクセスした際のサーバの動作を示している。
- 20 【0020】2-1-1：ようこそ画面
図3は、インターネットサービスプロバイダの「オンラインサインアップによるこそ」の画面を示したハードコピーである。この画面には、サービスプロバイダの月額使用料の決済のため、クレジットカードが必要である旨、「クイックプロバイダーサービス」を利用すればクレジットカードを現在未保有でも、即座にクレジットカードを新規申し込みできるとともに、そのカードによる決済が可能である旨が表示される。「クイックプロバイダーサービス」と書かれた下線部（又はアイコン、ボタンなど）をクリックすると（step702でYES）、図7のstep704に進み、申し込み画面を表示する。図3のようこそ画面上で何もクリックしなければ、その画面上に留まることとなる。図7のstep702で「クイックネットサービス」と書いたのは、サービスプロバイダに限らず継続的役務提供業者一般を意識
- 30
- 40
- 50

したからである。なお、既に何らかのクレジットカードを所有する需要者であっても、新たにクレジットカード契約をして新規のカードでプロバイダの月額料金決済を希望する場合には、クイックプロバイダーサービス（クイックネットサービス）を選択可能である。

【0021】2-1-2：申し込み画面

図7のstep704の申し込み画面では、各種規約への同意を需要者（役務受給の申込者）に求める。その表示内容を図4に示す。プロバイダー規約、カード入会規約、信用情報機関、個人情報の取扱いの仕方については、別の画面で詳細に記述し、それらの画面を最後までスクロールして確認した後に、同意ボタンを押せるようになることが望ましい。step706で同意するか否かの判断を行う。オンラインサインアップをする需要者（役務受給申込者）がすべてに同意すれば入力画面step708に移る。そうでなければ元に戻る（step706でNO）。

【0022】2-1-3：入力画面

図5は、入力画面の表示内容の概要を示すハードコピーである。入力すべき情報は、共通項目（継続的役務提供業者と料金決済手段提供業者とに共通に渡される情報）と、カード入会項目（料金決済手段提供業者のみに渡され、継続的役務提供業者には不要な情報）と、プロバイダー契約項目（継続的役務提供業者のみに渡され、料金決済手段提供業者には不要な情報）とに分けて記入される。共通項目の具体例としては、住所、氏名等である。カード入会項目の具体例としては、申し込みカード種別（国際カード会社のいずれと提携するカードか）、家族カードの申し込みの有無、住居・家族構成・勤務先・年収等の個人情報、支払口座情報、会誌購読指定などである。プロバイダー契約固有項目としては、電子メールアドレスの設定や、ID・パスワードの登録などが考えられる。入力負担を軽減するために、選択方式（幾つかの選択肢を表示し、クリックのみで入力可能とすること）を多用するのが望ましい。例えば、住所のうちの県名の入力や、扶養者の数や年収の選択などである。また、入力後の確認画面を表示して容易に修正ができるようになるなど、入力間違いに対するフォロー手段を設けるのが望ましい。

【0023】2-1-4：データ転送

図5には、図示を省略したが、需要者が入力後、確認画面で確認した後、送信ボタンを押すと、必要な項目がすべて入力されたか否かをstep710で判断する。漏れがある場合は、入力画面に戻り、再度入力（又は補充）を促す。漏れがない場合は、step712で自動採番段階に移る。

【0024】2-1-5：自動採番

step712からstep714までは、料金収納コードを自動採番する継続的役務提供業者側のサーバ10の動作を示している。step712では、step7

10で入力されたデータに対応して即座に料金収納コードを自動採番し、継続的役務提供業者側のデータベースに登録する。この採番は、本来料金決済手段提供業者がなすべきものであるが、あらかじめなされた料金決済手段提供業者と継続的役務提供業者との間の契約に基づいて、コード付与権限を賦与された役務提供業者が自動的に行なう例を示している。

【0025】2-1-6：継続的役務提供の開始

継続的役務提供業者のサーバはstep714で集金代行番号を取得して、サービス開始のための一連処理に移る。これにより、オンラインサインアップ手続をした需要者（役務受給申し込み者）は、最初のアクセスから接続を切らずにいる状態で（例えば5分から10分程度の時間内で）希望した継続的役務の受給を開始できる。

【0026】2-2-1：サインアップ手続後

継続的役務提供業者が新規顧客情報を入手すると、その後、いずれかの段階で、その情報は、クレジットカード会社にオンライン（例えばインターネットを介して）送られる。クレジットカード会社（料金決済手段提供業者）側では、受け取った顧客情報（カード申込者の情報）を加工して、プリントアウトした上で、申込者に郵送し、押印して返送することを求める。銀行口座引き落としのために押印が必要となるからである。それと平行してカード発行に必要とされる通常の審査を進める。カード発行がなされるまでの間に、顧客と継続的役務提供業者と間で料金が発生する場合は、クレジットカード会社が集金代行業務を引き受けことになる。オンラインサインアップ手続で発行した集金代行番号（料金収納コード番号）はこのためのものである。クレジットカード

30 決済の場合は、継続的役務提供業者の有する債権をクレジットカード会社に譲渡した上で、クレジットカード会社が顧客に請求する。集金代行の場合は、債権の譲渡を伴わずに、クレジットカード会社が継続的役務提供業者の代わりに集金するに過ぎないものである。従って、集金できない場合は、その旨を報告するに留まる。集金できなかった旨の報告を受けた継続的役務提供業者は、顧客に対して振込用紙を郵送するなどの措置を探る必要が生じる。このような煩わしさを避けるために、継続的役務提供業者は最初の2、3ヶ月を無料お試し期間とし

40 て、料金が発生しないようにするのが望ましい。

【0027】2-2-1：クレジットカード発行が可能な場合

審査の結果、クレジットカードの発行が可能となった場合は、クレジットカード会社（料金決済手段提供業者）は、顧客に対しクレジットカードを発行し、継続的役務提供業者に対しては、その番号を通知する。

【0028】2-2-2：クレジットカード発行ができない場合

50 審査の結果、クレジットカードを発行するに足る信用を顧客が有しないこととなった場合には、クレジットカ

ド会社は、既に発行した集金代行番号により、集金代行サービスを続ける。集金代行サービスを行うためには、顧客から銀行引き落としのための手続がなされていること（顧客に郵送した書類が押印された上、返送され、銀行との間での手続がされていること）が条件となる。

【0029】2-2-3：集金代行のできない場合
集金代行をすべき時期がきたにもかかわらず、顧客から必要書類がまだ返送されてこないために、銀行引き落としができない場合には、クレジットカード会社は継続的役務提供業者に対して、その旨を報告する。すると、継続的役務提供業者は、サービスの停止をする。プロバイダー契約の解約となる。

【0030】

【実施例】図2は、料金収納コード番号を、新規顧客の申し込みがインターネット上でなされる都度、料金決済手段提供業者（クレジットカード会社）のサーバと交信して取得する場合のフローチャートである。図2でstep 202からstep 206までは、料金決済手段提供業者側のサーバ（図1のサーバ20）でのフローチャートである。図7の実施形態では、料金決済手段提供業者があらかじめコード番号付与権限を役務提供業者に賦与していたので、役務提供業者側のサーバだけで役務提供サービス開始までの手続を完結していた。図2の実施例では、step 112, 114, 202, 204で両者のサーバが関与して交信した上でコード番号を付与、取得している点が異なる点である。なお、厳密に言えば、インターネットの一般需要者からみて、役務提供業者または料金決済手段提供業者のウェブサーバは、直接には、顧客データベースを管理するサーバとは異なるマシンとして設けられて、それぞれ分散処理をするのが普通であるから、顧客がアクセスするマシンと、採番するマシンとは異なるのが一般的である。その場合でも、本発明の思想の範囲内である。

【0031】図6は、クレジットカード申し込みの入力を料金決済手段提供業者側のサーバ上で実行することとした実施例におけるサーバの動作を示すフローチャートである。顧客の情報を入力する動作をクレジットカード会社側でしている点が図2に示す実施形態と異なる点である。あとは同じである。個人情報がカード会社にのみ管理されることを担保する上で、顧客に安心を与えることができる。

【0032】さらに、カード会社への情報入力は、カード会社へのサーバに飛んだ上で実行し、プロバイダーへの情報入力は、プロバイダへのサーバに飛んだ上であるという他の実施例も可能である。

【0033】また、二つのサーバ間のデータ転送の手続を顧客により積極参加させる形で表示してみせることも可能である。つまり、データ転送の際に相手方のサーバに、顧客の表示装置上も飛んでみせて、受け取った旨の表示画面を見せて、再びもとに戻るなどの手続をする。

これにより、顧客により安心感を与えることができる。【0034】また、一般にインターネット上のサーバでは、アクセスしているPCのIPアドレス、ダイヤルアップの場合の電話番号（非通知でなく、通知している場合）、使用しているマシーンの種類（ウィンドウズか、マックか）、OSのバージョン、ブラウザのバージョンなどの情報が取得可能である。これを知ることにより、継続的役務提供業者のサーバへアクセスしている顧客と、料金決済手段提供業者のサーバへアクセスしている顧客との同一性を照合することが可能である。これにより取引の安全性を高めることができる。

【0035】なお、本願における継続的役務提供の業種は、本実施形態及び実施例に挙げたものに限られないことはいうまでもない。例えば、インターネット上の英語学校、受験塾、ニュースの提供、情報のクリッピングサービス、イベント情報の提供サービス、割引情報提供サービス、音楽や画像のネット配信サービス、電子出版サービス、などの業種に適用する構成としても構わない。

20 なぜなら、これらは、継続的に役務を提供し、月ごとに料金を徴収する性質のものだからである。

【0036】さらに、役務提供を受けたいときにタイムリーにそれを得ることが必要であるものであって、即時決済の必要性の高いものほど、本発明の効用が高いものと考えられる。また、本明細書及び図面において、クリックプロバイダーサービス又はクリックネットサービスの称呼を用いたが、これらは仮称であって、これらのサービス名に限定されるものでないことは言うまでもない。

30 【0037】なお、上述した実施形態にあっては、サーバ10、20と、端末101、102、…とがインターネットNETを介して接続された構成としたが、本願においては、両者の接続形態については問わない。また、実施形態にあっては、サーバ10、20と接続される端末を端末101、端末102としたが、それ以外の端末であっても良い。

【0038】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、役務提供者、役務受給者、カード会社の三者の利益を満たしつつ、役務提供の早期開始を可能とする料金徴収方法、料金決済手段提供方法を提供することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明における実施形態の構成を示すプロック図である。

【図2】一実施例における役務提供業者側のサーバ及び料金決済手段提供業者側のサーバの動作を示すフローチャートである。

50 【図3】実施形態における「ようこそ画面」の表示内容を示すハードコピーである。

【図4】 実施形態における「同意画面」の表示内容を示すハードコピーである。

【図5】 実施形態における「入力画面」の表示内容を示すハードコピーである。

【図6】 クレジットカード申し込みの入力を料金決済手段提供業者側のサーバ上で実行することとした実施例におけるサーバの動作を示すフローチャートである。 *

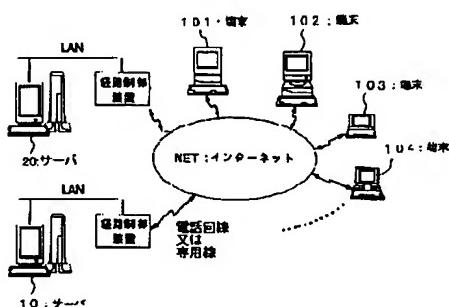
* 【図7】本発明の実施形態における一般需要者の継続的役務の受給申し込みの際の継続的役務提供業者側のサーバの動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

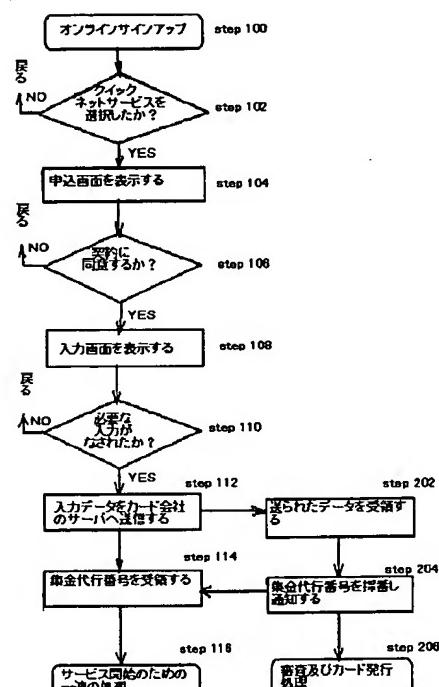
10、20 サーバ

101、102、103、104 端末

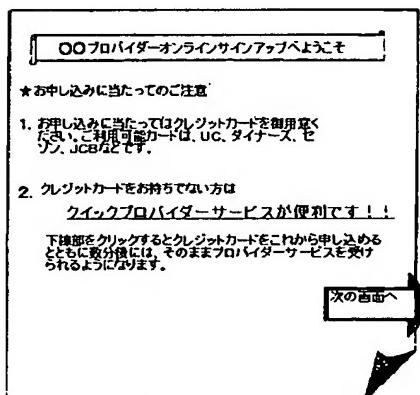
【図1】



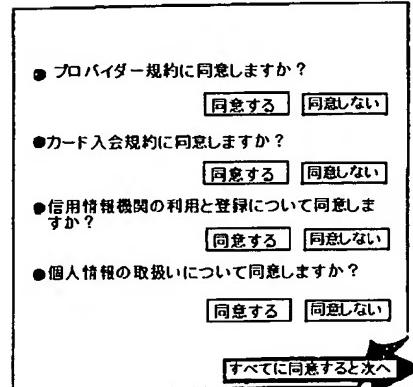
【図2】



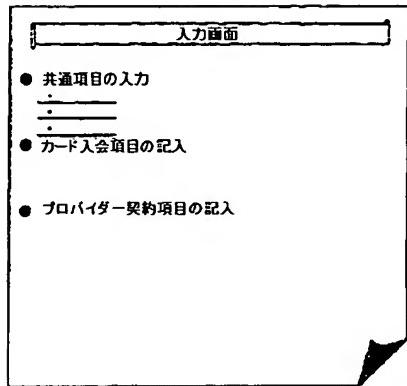
【図3】



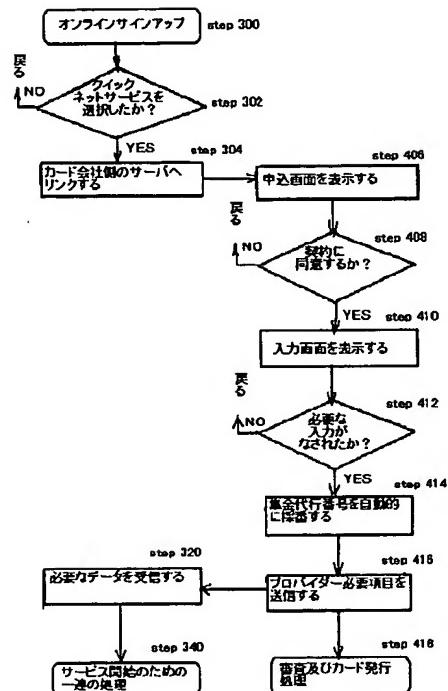
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

